

授業概要

社会心理学は、人と人、人と集団、組織や社会との関係性のなかで、人や集団がどのような行動をとるのかを研究する学問である。社会心理学における古くからの研究を第2回に紹介する。対人関係のみではなく、「自己」の問題を第3回、第4回にとりあげる。第5回以降では他者、集団、組織、社会との関係における重要なトピックスをとりあげ、社会心理学がどのような学問であるのかを理解してもらおう。人が社会をどのように作り上げ、社会が人にどのような影響を与えるのかに注目してってもらいたい。

授業計画

第1回	授業の進め方と諸注意および授業の概要
第2回	社会心理学における古典的研究
第3回	自己心理と対人心理
第4回	自己認知と社会的自己
第5回	説得的コミュニケーション
第6回	対他行動①—他者への攻撃
第7回	対他行動②—他者への援助
第8回	対他行動③—欲求行動①
第9回	対他行動④—欲求行動②
第10回	組織と集団①—リーダーシップ
第11回	組織と集団②—チームワーク
第12回	組織と集団③—集団間葛藤
第13回	集団と社会①—消費者行動
第14回	集団と社会②—情報化の問題
第15回	全体的なまとめ
第16回	試験

到達目標

調査の方法論を確実に理解してもらおう。心理系の専門ゼミでの調査、社会調査実習、卒論において応用が可能になる実力を身につける。

履修上の注意

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

予習・復習

資料とテキストを付け合わせて確認し、復習をしてもらいたい。

評価方法

授業の参加性（60%）とテスト結果（40%）をもとに評価する。

テキスト

毎回、A4の資料2枚程度を授業テキストとして配布する。復習がしっかりできるように授業テキストは構成する。